貸借対照表

2024年3月31日

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
I. 流動資産	1,786,207	I. 流動負債	872,411
現金及び預金	923,435	買掛金	231,118
売掛金	359,703	一年以内返済予定長期借入金	16,250
たな卸資産	415,726	未払金	279,018
前払費用	10,582	未払費用	7,250
未収入金	11,383	未払法人税等	231,354
預け金	65,226	未払消費税等	61,661
その他	149	前受収益	1,883
II. 固定資産	2,204,605	預り金	20,785
1. 有形固定資産	559,890	賞与引当金	23,089
建物及び構築物	495,471	II. 固定負債	243,083
工具、器具及び備品	53,849	長期借入金	242,500
建設仮勘定	10,570	長期前受収益	583
2. 投資その他の資産	1,644,714	負債合計	1,115,494
投資有価証券	20,000	純資産の部	
敷金保証金	170,394	I. 株主資本	2,875,318
関係会社長期貸付金	1,414,178	1. 資本金	45,000
繰延税金資産	40,141	2. 資本剰余金	35,000
		3. 利益剰余金	2,795,318
		(1) その他利益剰余金	2,795,318
		繰越利益剰余金	2,795,318
		純資産合計	2,875,318
資産合計	3,990,813	負債及び純資産合計	3,990,813

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産

- ・ 原材料

主に最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- ・ 有形固定資産

定率法を採用しております。但し、建物(附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物・・・・・・・・・・3～20年

工具、器具及び備品・・・・・・・・・・3～20年

(3) 重要な引当金の計上基準

- ・ 賞与引当金

従業員の賞与に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度負担分を計上しております。

(4) 外貨建資産負債の換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。